

認知症という診断後、これからどうしていいかわからないというご家族を支援する方法
認知症の本人とご家族の関係性を育むプログラムをあなたの地域でも開催してみませんか？

オンライン開催 (Zoomミーティング)

後日オンデマンド配信も行います

※申し込み方法：メールをお送りください。
URLとパスワードをお送りします。

申込時には、お名前とご所属、電話番号
希望分科会番号(裏面参照)を記入して
ください。

無料(先着450名)

申込受付 1月5日～2月1日

どなたでも参加できます

申込メールアドレス

is-sendai@dcnet.gr.jp

プログラム

- あいさつ 加藤伸司(認知症介護研究・研修仙台センター)
- 行政説明 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課
- 一体的サポートプログラムとは(概要)
矢吹知之(認知症介護研究・研修仙台センター)

○全国のモデル事業の紹介(3分科会)

富山県射水市 長野県駒ヶ根市 東京都品川区
京都府宇治市 福岡県大牟田市 宮城県仙台市
福岡県飯塚市 神奈川県平塚市 奈良県奈良市
福島県いわき市

ファシリテーター：堀田聡子(慶応大学) 進藤由美(国立長寿医療センター)



お申し込みはメールでお願いします。

**申込の際は、お名前、ご所属、電話番号、
希望分科会番号(下記)を必ず記入してください。**

is-sendai@dcnet.gr.jp

1 (少人口高齢化地域の実践)	2 (官民協働の運営)	3 (既存の資源活用)
駒ヶ根市、射水市、飯塚市	宇治市、いわき市、奈良市	品川区、仙台市、平塚市、大牟田市

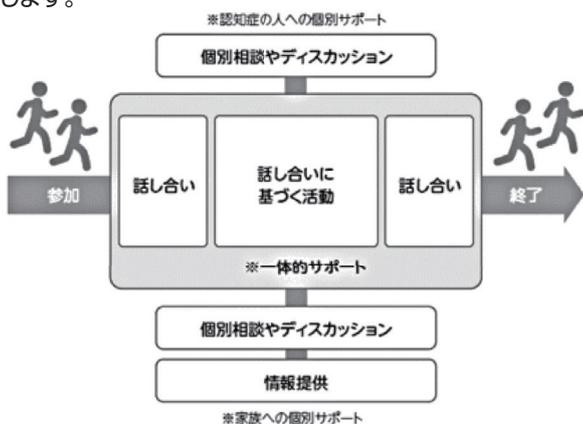
後日、当センターホームページDCnet (<https://www.dcnet.gr.jp/>) でオンデマンド配信も行います(2月末配信予定)

「出会い」と「話し合い(思いの共有)」で 家族関係を再構築するプログラム ～上から目線にならないサポートプログラム～

一体的サポートプログラムは、認知症の人も家族も認知症とともに生きる家族として一体的に支援します。認知症によって、対立、混乱をきたしている家族同士の関係を修復したり、これからの歩み方を自然に学ぶことができます。

プログラムは、シンプルで思いを共有する、その日に活動する、これらを家族と本人と一緒にやることを大切にしています。

このプログラムは、診断後や進行後など様々な場面で活用でき、活用されることで住み慣れた自宅や地域でのよりよい生活の継続に寄与します。



認知症カフェと何が違うのでしょうか？ 新たな社会資源として

認知症カフェは、地域の方も入り地域全体の認知症への寛容さを醸成することに役立ちます。家族会や本人ミーティングはピアサポートとしてとても重要です。一体的サポートは、これまでにない家族関係への新たなアプローチです。

誰が、どこで、どれくらいの頻度で？

月に一回程度の開催です。場所は、話し合いと活動が行える場所であればどこでも開催可能です。運営は、地域包括支援センターや認知症疾患医療センターなどの専門職あるいは家族の会の方など経験者とボランティアで運営されます。

マニュアルなどはあるの？

認知症介護研究研修センターホームページに掲載されています。事例やアセスメントシートなどもあるので参考にしてください。(2022年2月掲載予定)

DC-NET (認知症介護情報ネットワーク)

検索

全国に広がる
一体的サポートプログラム
次は、どこの街に
出来るでしょうか？

